

赤十字へのご支援・ご協力 ありがとうございます

平素より、赤十字活動へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和4年度、地区分区を通じてお寄せいただいている活動資金の見込状況及び活動報告は次のとおりです。

令和4年度活動資金見込 (令和4年9月末日現在)	250,848千円	(参考) 令和3年度活動資金実績 261,640千円
地区(市)扱い	191,583千円	199,494千円
分区(町村)扱い	59,265千円	62,146千円

※支部及び本社に直接お寄せいただいた活動資金は上記から除く。

あなたのご寄付でできること

2,000円で



災害時等に配布する
「毛布(1枚分)」を
整備できます。

3,000円で



避難所生活の負担を軽減する
「安眠セット(1人分)」を
整備できます。

25,000円で



人工呼吸や胸骨圧迫を練習する
「心肺蘇生訓練用的人形(1体)」
を整備できます。

100,000円で



AED(自動体外式除細動器)の
使い方を学ぶ
「AEDトレーナー(1台)」を
整備できます。

※整備した物品は、長野県内各地で利用されます。

未来につながる
赤十字活動



災害救護活動

令和3年8月の大雨災害や令和3年長野県茅野市土石流災害に際して、救援物資の配布や義援金の募集など、被災された方々を支援する活動を行いました。



赤十字プログラム

いつどこで起こるか分からない災害に備えて、日常生活に潜む危険や避難所生活で起こりうる問題等を学べる様々な講習会を、企業や団体、学校等で実施しています。

赤十字は、いかなる状況下でも
「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命に基づき、さまざまな活動を行っています。

活躍する赤十字ボランティア

日本赤十字社の活動は、
たくさんのボランティアの方々にも支えられています。

人の役に立つ楽しさと 自分の成長にやりがい。

長野県赤十字救護隊 北信方面隊副隊長 清水 啓二さん



医療や警察、消防などと一緒に、地域の皆さまの安全を守り、災害現場ではつねに被災者目線に立って救護などのボランティアをさせていただいています。人の役に立つ仕事をするのが楽しく、感謝される喜びも得られる。さらには自分自身の成長も実感できる。それが私たちのやりがい。結局、「人のため」は自分のためなんです。

人の痛みや苦しみに目を向け、 「想像力」を行動の土台に。

赤十字健康生活支援講習 指導員 奥原 ます子さん



地域の防災訓練での講習やさまざまな機会をとらえ、高齢者、障がいを持つ人たちなど、地域に生きるすべての人の命を支える活動をしています。人の痛みや苦しみに目を向け、その人がどんな手を差し伸べてほしいと思っているのか「想像力をもって行動すること」。この赤十字のミッションが、私の行動の土台になっています。

あらためて実感した “助け合い”の大切さ。

日赤須坂市地区 事務局 山岸 敦子さん



令和元年東日本台風(台風19号)災害時、私も避難住民の一人でしたが、赤十字奉仕団の皆さんとともに炊き出しなどの被災者支援活動を行いました。そこであらためて実感したのが“助け合い”の大切さ。その経験を活かして、安心して暮らせる地域づくりのために、地域とボランティアのパイプ役としてさまざまな活動をしています。

自分で自分の身を守る 防災教育を始めています。

諏訪市赤十字奉仕団 委員長 松木 文夫さん



豪雨災害をはじめ、さまざまな災害が発生した時に大切なことは、自分で自分の身を守るということです。それをこどもの頃からしっかりと身に付けてほしい。そして、こどもたちがたくましく未来を切り拓いていけるようにと願って、私たち諏訪市赤十字奉仕団は、小学生を対象にした防災教育への取り組みを始めています。

楽しくボランティアに取り組み、 大好きな仲間と出会いました!

更級農業高校JRC部のみなさん



地域の困りごとをどうしたら解決できるか、みんなでアイデアを出しあい、自分たちにできる活動をしています。放置竹林や河川敷のカヤを活用する取り組みは、ボランティア活動をしている高校生の全国大会で発表しました。大好きな仲間たちと出会い、楽しくボランティア活動をしなが、自分自身の成長も実感しています。

ウクライナ人道危機救援金

ウクライナ人道危機救援金実績
(日赤長野県支部受付分)

39,412千円

(令和4年9月末日現在)



厳しい状況に苦しむ女性を元気づけるウクライナ赤十字ボランティア ©ウクライナ赤十字社

<赤十字活動資金と義援金・救援金の違い>

赤十字活動資金とは

医療救護やこころのケアなど、被災された方々への支援を行います。平時はAED講習や防災教育など、さまざまな人道支援活動を行います。

義援金とは

被災された方々の当面の生活を支援するために配分されるもので、全額、被災された方々に届けられます。

※国内災害義援金と海外救援金の違いについて

国内の災害被災者を支援する目的で募集する寄付金を「国内義援金」と呼び、海外の被災者を救援する目的で募集する寄付金を「海外救援金」と呼んでいます。

皆さまの温かいご協力ありがとうございました。

令和3年度 決算報告

収入

収入合計 **460,280千円**

内訳

個人からの活動資金 **404,182千円**
法人からの活動資金 **24,657千円**
委託金・補助金及び交付金収入 **2,989千円**
資金繰入金 **5,603千円**
資産収入及び雑収入 **11,305千円**
翌年度当初の事業資金 **11,544千円**

支出施設の維持管理に

15,424千円

事務管理のために **44,632千円**

医療・血液・社会福祉事業の推進に **17,743千円**

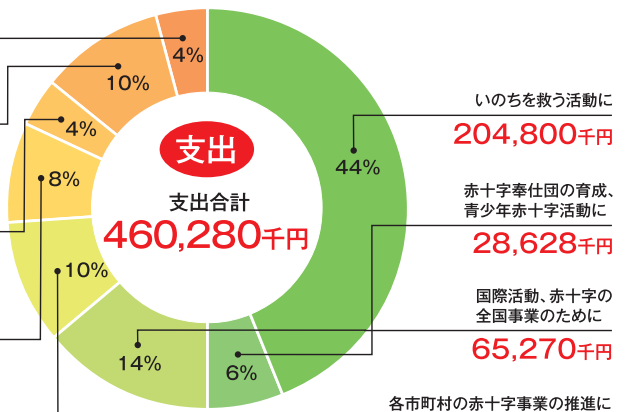
赤十字思想の普及と会員の増強に **35,685千円**

いのを救う活動に **204,800千円**

赤十字奉仕団の育成、青少年赤十字活動に **28,628千円**

国際活動、赤十字の全国事業のために **65,270千円**

各市町村の赤十字事業の推進に **48,098千円**



※下記については歳入・歳出から除く災害義援金預り金収入など 153,203千円

